

令和5年度 学校評価アンケート結果による学校関係者評価

項目	内 容	学 校 関 係 者 評 価	
		評価	コ メ ン ト
学 校 経 営	①お子さまは、楽しく学校生活をおくっている。 ⑦お子さまは、あいさつや思いやりのある行動ができる。 ⑭学校は、便りやホームページなどで教育活動をわかりやすく伝えている。 ⑮学校は、教育活動を保護者や地域に積極的に公開している。 ⑯学校は、いじめのない学校づくりに取り組んでいる。	おおむね 良好	○どの項目も、肯定的な回答が80%以上あり、安定した学校経営がなされている。しかし、昨年度よりも減少している項目があることや、否定的ない意見も一定あることをしっかり受け止め、学校教育目標である「ぬくもりある学校」の実現をめざし、さらなる創意工夫を期待する。 ○「いじめのない学校づくり」については、「わからない」の回答が増えたことにより数値に前年との違いが生じた。日々のきめ細やかな児童とのかかわりや、アンケート・教育相談等により、いじめの未然防止・早期発見・早期対応にしっかりと取り組んでいただきたい。 ○児童が登校時、見守りの方に挨拶をせずに黙って通り過ぎる光景を目にすることが多くあり、挨拶の指導や啓発をぜひとも継続してほしい。 ＜自由記述に対して＞ ○行事も工夫するなど、子どもたちの体験的な学びの充実と教職員の働き方改革のバランスをとってほしい。 ○「予定等の変更や行事の日時を早めにしりたい」については、共働きの家庭が増えている現状を踏まえ、できる限り早く伝えてほしい。また、ペーパーレスの促進のためにも「ミマモルメ」の有効活用を進めてほしい。
学 習 指 導	②お子さまは、「授業が分かりやすい。」と言っている。 ③お子さまは、意欲的に学校での授業に取り組んでいる。 ④お子さまは、自分の考えを持ち、分かりやすく伝える力をつけている。 ⑤お子さまは、家庭学習や読書の習慣が身についている。 ⑫学校は、基礎・基本の学力の定着に向けた授業を行っている。 ⑬学校は、体力づくりや食育など健康の保持増進について、子どもたちを指導している。 ⑳家庭では、子どもの学用品がそろっているか気にかけている。	おおむね 良好	○おおむね肯定的な調査結果が出ており、学校の取り組みが一定、評価されている。今後、タブレット等デジタル機器を有効活用し、さらに一人ひとりの個性や学習課題に応じた取り組みを推進してほしい。 ○基礎・基本の定着に加え、今後は、グループ学習や学び合いを促進し、探究的な学びもしっかりと進めてほしい。 ○家庭学習や読書習慣については、課題や取り組みの工夫に加え、主体的に学習に取り組む姿勢の育成が課題である。 ＜自由記述に対して＞ ○今後、ますます進むデジタル機器について、その効果的な活用を推進していただきたい。 ○宿題については、多い少ない両方の意見があるが、子どもたちがいかに主体的に取り組むかによって、定着の仕方も変わってきそうである。 ○どの子にも、小学校で学ぶべきことは小学校で達成されるよう、安定したきめ細やかな対応をお願いしたい。
安 全 管 理	⑯学校は、校舎内外が清掃され、気持ちの良い環境を整えている。 ⑰学校は、子どもの安全や健康に配慮している。 ⑳子どもの友だちや遊び場所を知っている。 ㉑何か起こったとき、安心して子どもを預けられる人が近くにいる。	おおむね 良好	○北門の電子ロックを行っており、それが通常の認識となり、不審者対応として一定評価できる。 ○本校では、学校安全協力員の活動により、登下校時の安全が確保されている。登下校中の責任は保護者にあることを確認し、今後の見守り活動のあり方を検討する必要があると考える。また、集団登校の意義やメリットも啓発していかなければならない。 ○児童アンケートでは清掃活動への評価が高い。今後も、取り組む内容も重視し、清掃の行き届いた環境づくりをお願いしたい。 ＜自由記述に対して＞ ○「施設の破損・安全点検について」日々の巡回・点検により、破損箇所や危険箇所をしっかりと把握し、適切に修繕等の対応をお願いします。 ○参観日等における防犯ボランティアによる安全管理や、不審者や緊急時対応においては、市教育委員会や警察等関係機関と連携し、訓練を重ねると同時に、適切に対応できる体制を整えていただきたい。
保 健 管 理	⑥お子さまは、「早寝・早起き・朝ごはん」の習慣が身についている。 ⑰学校は、子どもの安全や健康に配慮している。 ⑬学校は、体力づくりや食育など健康の保持増進について、子どもたちを指導している。	おおむね 良好	○概ね肯定的な調査結果が出ている。これからも、食育も含め、引き続き、児童の健康管理・増進への取り組みを進めていくことを期待する。 ＜自由記述に対して＞
生 徒 指 導	⑧お子さまは、学校や社会のルールやマナーを守って生活している。 ⑨学校は、子どもたち一人ひとりを大切にし、よく理解している。 ⑩学校は、子どものまちがった行動を、きちんと指導している。 ⑪学校は、子どものことについての相談に、適切に対応している。	おおむね 良好	○児童との信頼関係に重点を置き、人権に配慮した生徒指導が推進されている。しかし、そのことが児童や保護者に十分に伝わっていないこともあるように思われる。様々な機会を利用して、学級・学年・学校の取り組みを伝えていくことが大切だと思われる。今後も事実関係を確認した上で、適切な対応を続けてほしい。 ○一人ひとりの児童を対象とした丁寧な児童観察と見守りを続けてほしい。 ○学校と保護者の関係が良好になるよう努めてほしい。 ＜自由記述に対して＞ ○「気にかかるところを的確に伝えてくださる」については、児童の見守りと初動体制、保護者とのきめ細かな連絡体制の成果であろう。今後も、教職員内及び保護者との報告・連絡・相談は密に行う必要がある。特に生徒指導面において、学校と保護者の連携は重要である。 ○「保護者と児童両方の目線で考えてほしい」「教育・指導の軸を一貫して」については、児童の声に耳を傾け、理解し納得できるような指導を心掛けてほしい。また、保護者との事象と指導内容の正確な共有をお願いしたい。
保護者・地域との連携	⑮学校は、教育活動を保護者や地域に積極的に公開している。 ⑲家庭の中の仕事で、子どもに任せているものがある。 ㉑家庭では、学校や学年、学級からの連絡に目を通している。	おおむね 良好	○昨年度に比べ、参観授業の回数が増えたこと、運動会や音楽会を実施したことは、評価できる。今後も開かれた教育課程を推進してほしい。 ○川北コミュニティ協議会や学校安全協力員との関係が良好であり、地域の子どもの地域で育てる意識が高まることを望む。 ＜自由記述に対して＞ ○保護者・地域と気軽にコミュニケーションがとれる関係づくりは大切である。今後、様々な機会を通して、より良い関係づくりに取り組んでいただきたい。